

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
 (仮称)イーエルオカモ様新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

スコアシート 竣工段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質					2.2
Q1 室内環境			0.33		2.5
1 音環境		1.8	0.15	-	1.8
1.1 室内騒音レベル	-	1.0	0.40	-	-
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-
1 開口部遮音性能	YKKap EXIEMA31(T=1)	3.0	1.00	-	-
2 界壁遮音性能	界壁はなし	-	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	階床なし	-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	-	-	-
1.3 吸音	吸音材を使用していない。	1.0	0.20	-	-
2 温熱環境		2.2	0.35	-	2.2
2.1 室温制御		2.2	0.50	-	-
1 室温	-	3.0	0.38	-	-
2 外皮性能	複層ガラスを採用	3.0	0.25	-	-
3 ゾーン別制御性	-	1.0	0.38	-	-
2.2 湿度制御	-	1.0	0.20	-	-
2.3 空調方式	-	3.0	0.30	-	-
3 光・視環境		2.0	0.25	-	2.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-
1 昼光率	-	-	-	-	-
2 方位別開口	-	-	-	-	-
3 昼光利用設備	-	3.0	1.00	-	-
3.2 グレア対策		1.0	0.30	-	-
1 昼光制御	後にブラインド・カーテン施工	1.0	1.00	-	-
3.3 照度	机上面で500LX以上	4.0	0.15	-	-
3.4 照明制御	-	1.0	0.25	-	-
4 空気質環境		3.9	0.25	-	3.9
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-
1 化学汚染物質	仕様材料はF☆☆☆☆採用、JIS、JAS適合のものを採用	5.0	1.00	-	-
4.2 換気		3.3	0.30	-	-
1 換気量	-	3.0	0.33	-	-
2 自然換気性能	更衣室、会議室などは窓がない。	3.0	0.33	-	-
3 取り入れ外気への配慮	道路側からの給気は極力控えている	4.0	0.33	-	-
4.3 運用管理		2.0	0.20	-	-
1 CO ₂ の監視	-	1.0	0.50	-	-
2 喫煙の制御	3階に喫煙スペースを設置	3.0	0.50	-	-
Q2 サステナビリティ			0.30		2.9
1 機能性		2.7	0.40	-	2.7
1.1 機能性・使いやすさ		1.3	0.40	-	-
1 広さ・収納性	-	1.0	0.33	-	-
2 高度情報通信設備対応	7000VA/107.71㎡ LANのみ	2.0	0.33	-	-
3 バリアフリー計画	工場のため	1.0	0.33	-	-
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30	-	-
1 広さ感・景観	執務室のCH2500、作業場CH3000	3.0	0.33	-	-
2 リフレッシュスペース	3階の食堂をリフレッシュスペースとする	4.0	0.33	-	-
3 内装計画	導電床など機能を明確化 手元照度500LX	3.0	0.33	-	-
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-
1 維持管理に配慮した設計	壁はビニールクロス・床はフロアタイルなど	5.0	0.50	-	-
2 維持管理用機能の確保	-	3.0	0.50	-	-
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30	-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-	3.0	0.80	-	-
2 免震・制震・制振性能	-	3.0	0.20	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-
1 躯体材料の耐用年数	-	3.0	0.20	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	-	3.0	0.20	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	-	2.0	0.10	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ステンレス鋼板(屋外露出)	4.0	0.10	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:硬質塩化ビニルライニング鋼管/排水:耐火二層ビニル管	3.0	0.20	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	-	3.0	0.20	-	-
2.4 信頼性		2.4	0.20	-	-
1 空調・換気設備	-	3.0	0.20	-	-
2 給排水・衛生設備	-	3.0	0.20	-	-
3 電気設備	-	1.0	0.20	-	-
4 機械・配管支持方法	電気温水器KH1.0、消火用補給水槽KH1.5で解析	3.0	0.20	-	-
5 通信・情報設備	お施主様の方でご計画(光、PHS)	2.0	0.20	-	-

3	対応性・更新性		3.2	0.30	-	3.2
	3.1 空間のゆとり		2.2	0.30	-	
	1 階高のゆとり	事務所CH2500,作業場CH3000	1.0	0.60	-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.13	4.0	0.40	-	
	3.2 荷重のゆとり	置場の荷重は1t/m ² で計画した	5.0	0.30	-	
	3.3 設備の更新性		2.8	0.40	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	
	3 電気配線の更新性	-	1.0	0.10	-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	
Q3	室外環境(敷地内)			0.37	-	1.5
1	生物環境の保全と創出	周辺に山々田畑があるため特に配慮していない。	1.0	0.30	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	周辺の建物と似たデザインとし、周辺の景観に配慮した。	2.0	0.40	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮		1.5	0.30	-	1.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	1.0	0.50	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	2.0	0.50	-	
LR	建築物の環境負荷低減性					3.6
LR1	エネルギー			0.40		4.4
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI=0.68	5.0	0.20	-	5.0
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI=0.26	5.0	0.50	-	5.0
4	効率的運用		3.0	0.20	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル			0.30		2.9
1	水資源保護		3.0	0.20	-	3.0
	1.1 節水	トイレ水洗	3.0	0.40	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.8	0.60	-	2.8
	2.1 材料使用量の削減	-	3.0	0.10	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	持続可能な森林から算出された木材の仕様比率が50%以上	5.0	0.10	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	3.0	0.20	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.2	0.20	-	3.2
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	有害物質を含む材料を使用しない。	5.0	0.30	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		2.5	0.70	-	
	1 消火剤	屋内消火設備	2.0	0.50	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	断熱材はグラスウールを採用	-	-	-	
	3 冷媒	CO2冷媒冷凍機	3.0	0.50	-	
LR3	敷地外環境			0.30		3.4
1	地球温暖化への配慮	CO2排出率60%	4.6	0.33	-	4.6
2	地域環境への配慮		2.9	0.33	-	2.9
	2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用しない。	5.0	0.25	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	2.0	0.50	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	
	2 汚水処理負荷抑制	汚水が出る作業はない	3.0	0.25	-	
	3 交通負荷抑制	-	3.0	0.25	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	2.0	0.25	-	
3	周辺環境への配慮		2.8	0.33	-	2.8
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		-	-	-	
	1 騒音	市街化調整区域のため対象外とする	-	-	-	
	2 振動	市街化調整区域のため対象外とする	-	-	-	
	3 悪臭	特定悪臭物質の取り扱いなし	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.67	-	
	1 風害の抑制	特に対策なし	3.0	0.70	-	
	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	
	3 日照障害の抑制	市街化調整区域で日影規制なし	3.0	0.30	-	
	3.3 光害の抑制		2.6	0.33	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	周辺に配慮した計画としている。	2.0	0.70	-	
	2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	型板ガラスを採用	4.0	0.30	-	

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

(仮称)イーエルオカモト様新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	-		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	10.0		○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0		-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	2.0		2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	5.0		2.0	-	1.0	-	-	-	-	2.0	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 給排水等再利用システム導入の有無	-		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	2.0		1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	12.0		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	4.0		-	-	-	-	1.0	-	-	2.0	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		-	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	1.0		1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	0.5	窓の日射熱取得率(η)	-	
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁	床
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	ηAG	ηAH
屋光率	0.0%			
自然換気有効開口面積率	0.0%			

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	4.5㎡/人	病床	.0㎡/床	シングル	.0㎡	ツイン	.0㎡
--------	--------	----	-------	------	-----	-----	-----

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量	64.0 VA/㎡
---------	-----------

1.2.1 広さ感・景観

天井高	2.5 m
-----	-------

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	0.5%	レストスペース	2.0%
------------	------	---------	------

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	30年
--------	-----

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔	30年
--------	-----

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔	10年
--------	-----

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	15年
--------	-----

3.1.1 階高のゆとり

階高	3 m
----	-----

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	13.0%
-------	-------

3.2 荷重のゆとり

床荷重	9800 N/㎡
-----	----------

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	0%	建物緑化指数	0%
--------	----	--------	----

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	65%	水平投影面積率	0%	地表対策面積率	0%	舗装面積率	61%
-----	-----	---------	----	---------	----	-------	-----

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	0.68	断熱等性能等級	等級2相当
----------------------	------	---------	-------

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量	757.08 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	80.0%	採光を満たす住戸数	80.0%
		通風を満たす教室数	80.0%	通風を満たす住戸数	80.0%

3 設備システムの高効率化

BPI/BPI _m	非住宅 0.26	住宅 0.66	太陽光 .0kW	太陽熱等 .0kW	蓄電池 .0kW
----------------------	----------	---------	----------	-----------	----------

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	0.0%
-------	------

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-
--------	---	---------	---	-------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	100.0%
------	--------

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	0
---------------	---	--------------	---

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	0
---------------	---	--------------	---

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	8
---------------	---	--------------	---

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	98%	隣棟間隔指標Rw	0.40						
地表面対策面積率	7.0%	屋根面対策面積率	0.0%	外壁面対策面積率	0.0%				
見付面積Sb	382㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws	31 m	基準高さHb	12.56 m				
緑地	㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	200㎡	再帰性反射対策面	㎡